



各 位

平成 17 年 2 月 10 日

会 社 名 日本精密株式会社
コード番号 7771
代表者名 代表取締役社長
町 幸頼
問合せ先 総務人事部長
元川 博文
T E L (048)225-5311

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 11 月 16 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,374	101	120
今 回 修 正 予 想 (B)	3,200	2	66
増 減 額 (B - A)	174	99	54
増 減 率	5.2%	98.0%	45.0%
前 期 (平成 16 年 3 月 期) 実 績	3,136	86	31

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 23 円 57 銭

2. 平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,800	150	234
今 回 修 正 予 想 (B)	3,600	21	170
増 減 額 (B - A)	200	129	64
増 減 率	5.3%	86.0%	27.4%
前 期 (平成 16 年 3 月 期) 実 績	3,598	44	460

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 60 円 71 銭

3. 理 由

当期の業績につきましては、中間期まではほぼ計画通り推移いたしましたが、第3四半期におきまして次の事象が具現化し当期の業績に影響がでることが必至となり、中間決算短信において発表した通期の業績予想を達成することが困難な状況となりましたので、業績予想を修正することといたしました。

主力の時計バンド部門のうち国内大手メーカーからの受注が急な在庫調整の影響により売上高が通期計画を約 40 百万円減少する見込みです。

メガネフレーム部門は、中国メーカーとのコスト・品質両面の競合が一段と激化し受注減となり生産量も横這い状態で売上高が通期計画を約 170 百万円下回る見込みです。第4四半期はベトナム工場への日本人技術者の増強により、高品質を武器にシェアアップによる収益増を図ります。

今期新たに取組んだ電子辞書外装部品は、第3四半期より量産体制に入るも発注メーカーの方針により新製品への切替時期が早まり、当社の生産計画の変更が余儀なくされ売上高が通期計画を約 90 百万円下回る見込みです。

一方、応用品部門は、下半期から本格生産体制に入った静電気除去器は市場ニーズに適合し売上高が通期計画を約 40 百万円上回る見込みで今後とも収益増が期待できます。

以上により、当期の予想数値を修正するものでありますが、今後は全社一丸となって、経営体質の強化に努め、業績改善に邁進してまいります。

4. 期末配当について

当社は株主への利益の還元を経営の重要施策の一つとしており、業績予想は上記のとおり修正いたしますが、当期の期末配当金につきましては、平成 16 年 11 月 22 日公表の期末配当予想(1 株当り年 10.0 円)は変更いたしません。

【注】 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報から合理的と思われる判断に基づき作成したものであり、実際の業績は上記の業績予想と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以 上